

若葉のころのおはなし会 2つ

今回は、文庫の仲間<おはなしの会・沙羅>と
東京<大田おはなしの会>のみなさんとのコラボ

大人のためのおはなし会

(16日夕方5:00から)

- 1部 森のお店やさん(林原玉枝作の中から7篇)
- 2部 ムギの王さま(ファージョン作から3篇)
- 3部 魔法のオレンジの木(ハイチの民話を2篇)

子どものおはなし会

(17日午前10:30から)

「箱」を使った小話

おはなし「幸福のおみくじや」

絵本「ぼく およげないの」

手遊び「ふうせんふくらませ」

パネルシアター「まりーちゃんとひつじ」

おはなし「ちいちゃいちゃい」 など等

みんな聴きにきてね!

“これからの催し物のお知らせ”

アートフェスティバル 始まりました!

文庫開館は5月10日(日)~17日(日)

★開館中(全日 10:00~15:00)は、
絵本ミニミニ原画展&セーラー出版の絵本展示
・および販売会(ちょっとお得週間)
図書館を使った調べる学習賞優秀作品の複製展示

★おとなのために若葉のころのおはなし会
(5月16日午後5:00~7:00)
子どものための若葉のころのおはなし会
(5月17日午前10:30~12:00ころ)

★海の日のおはなし会

7月19日(日)5:30から(伊豆高原駅大クスノキ下)

★沙羅の樹文庫開館3周年記念おはなし会

7月20日(月)10:30~12:00(文庫で)

☆☆今後の開館スケジュール☆☆

◆6月は 第3土日(20、21日)です。

◆7月も 第3土日(18、19日)です。

◆8月は 13~17日(木~月)です。

(8月は、全日午前10:00~午後3:00)

◆文庫の時間:土曜日は午後2時~5時、
日曜日は午前10時~午後3時

◆毎月開館日の日曜には、「子どものための
小さなおはなし会」があります。
午前10:30~11:00

◆文庫開館日は毎月、第3日曜とその前日の土曜日の
2日です(従って第3土曜日でなく第2土曜日と
いうこともあります)。

《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》
みんなで勉強会(おはなしの会・沙羅)
6月はお休みです。

沙羅の樹文庫便り

No.33

(2009年5月号)



伊豆高原
アートフ
ェステイ
バルの
仲間たち

編
宮迫千鶴

木戸出版

5月は、子どもの日、母の日のあるみどり美しい月。
ようやく晴れて、ウグイスがのどを振るわせ、
見事に鳴きながら木から木へ。さわやかな季節、
アートフェスティバルの季節。

「生まれたよ」と
父親の声はずみつつ五月の朝に
弟が来た

「カーかん」に
いろんな意味のしっぽあり
「カーかんやって」
「カーかんちょうだい」

俵万智『プーさんの鼻』より

文庫あれこれ◆5月の特別開館初日は晴れです!◆
昨日、池の近くにお住まいの絵本作家・田島征三さん
の工房をお訪ねしました。沙羅の樹もまんざら
ではないと思っていたのですが、とても心洗われ
るような素敵な空間・環境とお住まいでした
(no.64:シデの木の実の家、金土日のみ)。新潟
中越地震で被害の大きかった地区の廃校に美術
館を作るおはなしや、横浜での老若男女との合作
作品のおはなしなど楽しくお聞きしました。絵本
かっちゃんいました。◆東京世田谷文学館で松本清
張生誕100年展?を観る機会がありました。なん
というか、全人間的に、すごい人だなあと、感嘆
しました。◆地元の方にも、旅する方にも、ア
ートフェスティバル、楽しんでいただくと嬉しい
です。表紙に、故・宮迫さんの「半島暮らし」を
使わせていただきました。◆引き続き、インフル
エンザの予防対策を忘れないようにしましょう。
(西村)

連絡先:沙羅の樹文庫

電話 0557-51-3737

フェスティバル参加の展示のご紹介をします。

その1

今年は、セーラー出版から提供いただいた、3つの原画を展示し、さらにセーラーの出版物を一同に揃えました。セーラー出版をご存知なくても、文庫の会員さんなら、セーラー万年筆はご存知でしょう。セーラー出版は、セーラー万年筆のキャラクターの絵本を出版したことから、始まりました。海外の絵本がほとんどですが、最近はおとなり韓国や東南アジアの絵本の翻訳本もすばらしいです。どうぞゆっくり鑑賞してください。販売、予約も受け付けます。登録シールが張ってあるのは文庫の本、それ以外は購入できます。

原画

クレイニエツ作『お月さまってどんなあじ?』の一場面
アニタ・ローベル『毛皮ひめ』の一場面
ウィルコン『トラ』(編集者に贈られた年賀状)

目録の中から

<上記3人の絵本>

クレイニエツの本

『お月さまってどんなあじ※』『クレリア』『だれかさんの目※』『おとぞうさん』

ウィルコンの本

『こぐまのやま』『ブラウンさんのネコ』『ゆきだるまのさがしもの』『くろねこのかぞく』『What is this?※』

『にじ』『子馬とカバ』『トニオ』『すきすきだいすき』『ミンケバットさんの小鳥たち』

アニタ・ローベルの本

『毛皮ひめ※』『わたしの庭のバラの花』『クリスマスイヴのこと』『ABCの絵本』

★そのほか、「かえるくん」でおなじみベルジュイスの絵本、スタイグの絵本、韓国絵本ほか、たのしくて、つよがり、ちょっとかなしい絵本がたくさん。出版社にはもうない文庫の本もあります。おたのしみください。★

その2

第12回図書館を使った“調べる”学習賞コンクール

入賞作品(複製)全27点 展示

1. むしできない虫の話
2. アリがつんだら山となる
3. サメって不思議!!
4. 安房直子—メルヘンとファンタジーの狭間で—
5. お月さまはぼくのことをすき?
6. 仮想旅行記 北里柴三郎を追いかけて
7. ヌルヌル気持ちわる〜い ナメクジのなぞ
8. お願い!芽が出て!〜ツルレイシ〜
9. 私と里山
10. 紅花の真相 卑弥呼も愛用?
11. ya 高松塚解体調査 日本は文化財を守れるか
12. 地域文化のアイデンティティを求めて
13. 薫 その魅力とパワー
14. まぼろしの電車E331系
15. か VS ぼくの知恵くらべ
16. だ液のひみつ
17. 「もやしもん」を100倍楽しむ
18. 「きみの家にも牛がいる」から考える牛と人間の関わり
19. きょうりゅうの顔のあな
20. 植物のふしぎ〜葉にはどうして線があるの?〜
21. 『どんな水が好き?』—60cmの水槽から地球環境問題へ
22. 龍虎相打つ〜戦国と現代をつなぐ新聞
23. 郷土史 調べ学習支援への探求
24. 原爆被害を伝える活動〜諸活動の実際と課題について
25. なぜ八王子なのか—“八王子”地名の由来とその検証
26. 児童労働 現状と児童労働撤廃に向けて
27. 悲劇は川の分岐点から 63年前のヒロシマ

昨年に引き続きの展示です。今年も、タイトルをみただけで、また読み物とはちがった心躍る作品ばかりです。このコンクールは、NPO 図書館の学校(図書館流通センター連携)と日本児童教育振興財団(小学館母体)が主催し、文科省、毎日新聞、読売新聞、ほか、多くの後援を受けて、12回(毎年1月審査決定2月授賞式)続いています。創設から6年ほど関わりました。当初応募数400点ほどが、現在は全国から9600余点集まるとか。小学生から私たち世代まで、身近な話題から、遠大な夢まで、私たちに生きるエネルギーを伝えてくれます。昨年は、この近くのトンボ玉工房を訪れた中学生の作品で文庫は盛り上がりました! あなたもチャレンジしてみませんか! 09年度締め切りは10月末日(詳細は文庫にて)。

♥お願い!♥

司馬遼太郎著『翔ぶが如く』をお持ちの方で、文庫へ寄付して下さる方、おいでになりませんか! (文庫本でよいのです)

今月はこんな本が入りました!

<子どもの本>

『せとうちたいこさんパーティいきタイ』『せとうちたいこさんえんそくいきタイ』(長野ヒデ子 童心社)『アリーのものがたり4』(PHP研究所)※ここまでリクエスト『こいぬのうんち』(※韓国の絵本の傑作 平凡社)『あえてよかったね』(山末やすえ※伊豆高原在住作家 くもん出版09 ※寄贈)

『ケンケンとムンムン』『わっはっは』『こやぎがめえめえ』『おぼけむら』『しらないまち』『くさむら』(※以上6冊 田島征三作)

<大人の本>

『路上のソリスト』(スティーヴ・ロペス著 祥伝社09 ※映画化5月封切り)『墜ちてゆく男』(ドン・デリーロ著 新潮社09)『ナイン・ストーリーズ』(サリンジャー著 ヴィレッジブックス09)『昨日のように遠い日』(柴田元幸編 文藝春秋09 ※大人の読む少年少女小説)

『マッカーサー』(増田弘成著 中公新書09)『死の海を泳いで』(ディヴィッド・リーフ著 岩波書店09)『ハーンと八雲』(宇野那ー著 角川春樹事務所09)『戦争特派員』(ニコラス・ランキン著 中央公論新社09 ※リクエスト)

『さまよう刃』(東野圭吾著 角川文庫 ※寄贈)『旅する巨人 宮本常一と渋沢敬一』(佐野真一著 文春文庫)『骨盤にきく』(片山洋次郎著 童心社)

『松本清張の日本史探訪』(松本清張著 角川文庫)『無宿人別帳』『鬼火の町』(松本清張著 文春文庫)

ほかに、東京・広瀬恒子さんより、子どもの本100冊寄贈いただきました。これらの本の中には、文庫ではなかなか買えない科学の本がたくさんあります。度々ありがとうございます。 沙羅の樹